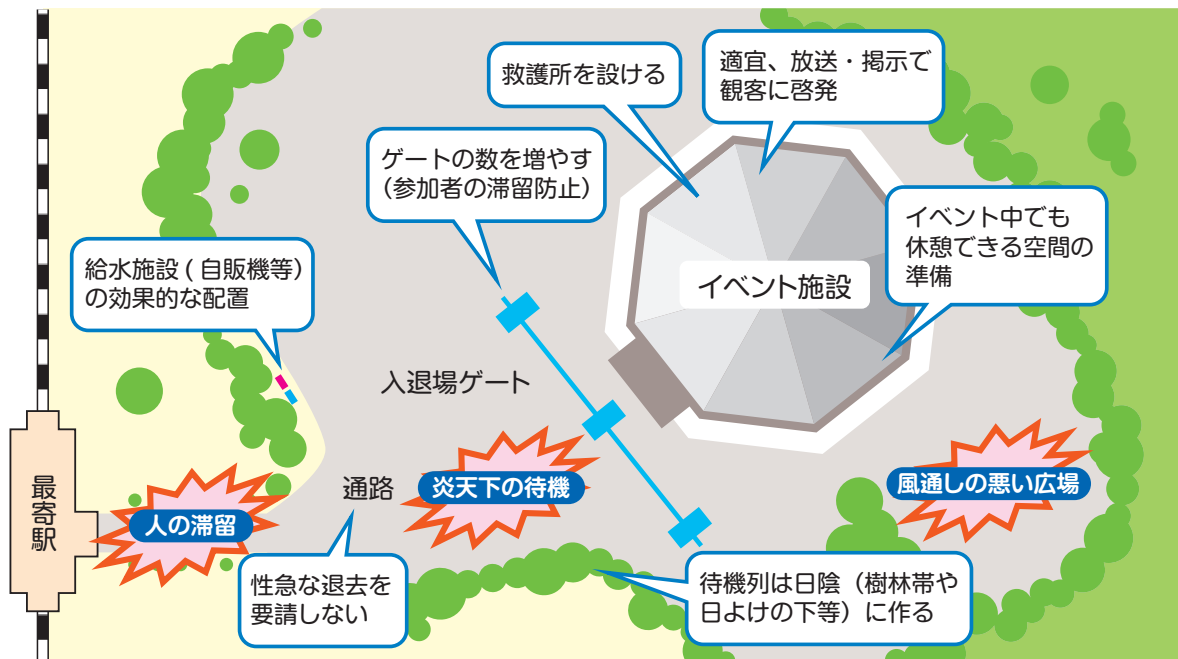


熱中症 対策と緊急時の要点

夏季のイベントにおける熱中症対策



イベント会場における暑熱環境の緩和

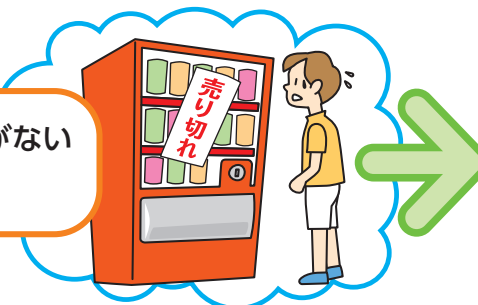
注意が必要な箇所

- ・ 入場待ちの長蛇の列
- ・ 列が日なた



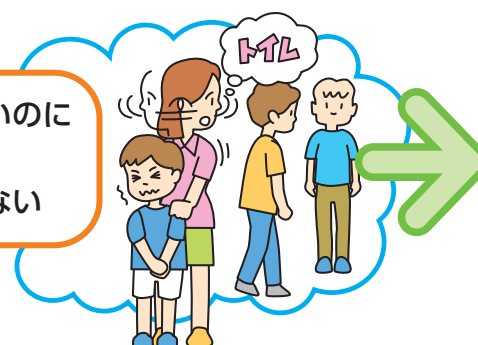
整理券や指定席の活用
待機列を日陰に誘導
ゲートを増やす
暑さ対策を呼びかける

- ・ のどが渴いたのに売店がない
- ・ 自動販売機が売り切れ



給水所、自販機、売店
をわかりやすく
欠品防止

- ・ トイレはどこか聞きたいのに
スタッフがいらない
- ・ 誰がスタッフかわからない



わかりやすい服装
声をかけやすい雰囲気
放送で案内

熱中症の予防法



緊急時の応急処置

もし、あなたのまわりの人が具合が悪くなってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。

傷病者の発生

チェック1

熱中症を疑う症状がありますか？

(めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温)

いいえ

一次救命処置の手順
(51頁)を参照

はい

チェック2

呼びかけに
応えますか？

いいえ

救急車を呼ぶ

はい

涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす

チェック3

水分を自力で
摂取できますか？

いいえ

涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす

はい

水分・塩分を補給する

チェック4

症状がよくなり
ましたか？

いいえ

医療機関へ

はい

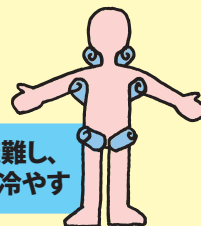
そのまま安静にして
十分に休息をとり、
回復したら帰宅しましょう



大量に汗をかいている場合は、塩分の入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう



救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。意識がないのに無理に水を飲ませてはいけません



氷のう等があれば、首、脇の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう



本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう

「熱中症の疑いがある患者について医療機関が知りたいこと」(43頁)も確認してください。